

## 履修における注意事項（平成26年度入学者 夜間主コース）

- ★ 履修しようとする科目について、シラバスで事前にその内容を確認してください。シラバスには科目ごとに、授業の概要、授業方法、授業内容、教科書、成績評価方法などが記載されています。シラバスはNU-Webシステムから閲覧できます。
- ★ 履修登録は指定された期限までに、NU-Webシステムで必ず行ってください。また、登録内容に間違いがないか必ず確認してください。履修登録が正しく行われていなければ、授業や試験を受けても単位は認定されません。
- ★ 授業の出席確認は、講義室等に設置されたICカードリーダーにICカード（学生証）をかざすことによって行います。ICカードリーダーが配置されていない演習室や、授業担当教員が直接出席確認を行う場合もあります。授業に毎回必ず出席し、しっかりと講義ノートを作成し、また十分に予習・復習を行うことが大切です。
- ★ 夜間主コースの授業は1日2校時しか開講されないため、履修可能な授業科目数が制限されます。教養教育科目は、規則上は卒業までに修得すればよい科目ですが、2年次末までに確実に修得することを強く勧めます。
- ★ 昼間コースに開講される授業を履修し、30単位を限度に最低修得単位数に含めることができます。ただし、昼間コース学生に履修を限定されている科目や、夜間主コースの授業を含めた履修登録上限に注意して、計画的な履修を行ってください。
- ★ 教員免許の取得を希望する学生は、4月初めに実施する説明会に必ず参加しなければなりません。この説明会に参加しなければ教職科目の履修は認められません。教育免許の取得には、特別指定科目を修得する必要があります。特別指定科目はいずれも昼間の時間帯に開講され、教養教育科目として文教キャンパスで開講される科目と、経済学部で開講される科目があります。

### 卒業延期（留年）を防ぐために——よくある留年パターン

**パターン1**：授業に出席しない、単位を修得できない。 →1年次のうちに登校しなくなる。

継続的に出席しなければ授業についていくことはできません。

また、過度の、とくに深夜の時間帯の勤務やアルバイトを行うと、履修上困難をきたすことがあるので極力避けてください。

**パターン2**：教養教育科目の最低修得単位を修得できない。 →3年次以降登校しなくなる。

夜間主コースの授業は1日2校時しか開講されないため、履修可能な授業科目数が制限されます。教養教育科目は配置された年次にすべて確実に修得するようにしましょう。

**パターン3：演習履修要件を満たせない。** → 1年間以上の卒業延期（留年）が確定する。

演習Ⅰは卒業するまでに（3年次あるいは4年次に）単位修得すればよい科目ですが、3年次終わりまでに演習（ゼミ）履修要件を満たすことができず演習Ⅰを履修できないと、4年間での卒業はできないことになります。

**パターン4：考査での不正行為** → 1年間以上の卒業延期（留年）の可能性が高くなる。

試験やレポートでの不正行為は、当該学期の授業科目の単位が与えられないほか、訓告、停学、退学等の処置が行われることがあります。

履修に関して不明な点があるときは、経済学部学務係窓口にお問い合わせください。  
経済学部学務係は本館1階にあります。

大学から学生に対する通知・連絡などは学務係およびNU-Web上の掲示板を通じて行われます。通学時に必ず1日1度は掲示板を確認するよう心掛けてください。また、経済学部ホームページ（在学生の皆様へ）にも基本的な情報を掲載していますので、有効に利用してください。

<http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/>

# 夜間主コースの標準履修体系

平成26年度夜間主コース入学者用

		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>授業科目区分</b> (最低修得単位数)*2									
教養教育科目	必須	2単位							
		2単位							
		2科目2単位		2科目2単位		2科目2単位			
		6単位							
		2～6単位		2～4単位					
		5科目10単位							
専門教育科目		2単位		2単位					
		3科目8単位		1科目2単位		*2			
		*2		*2		8～12単位		16～18単位	
					*2		18単位 18単位		
							18単位 18単位		
							演習 I ☆4単位		
							演習 II ☆4単位		
自由科目(教養・専門)(24単位)*2								*2 *2	
<b>履修登録上限単位数</b> *1		48単位		48単位		50単位		50単位	
教養教育科目		単位+昼 単位		単位		単位		単位	
専門教育科目		単位+昼 単位		単位+昼 単位		単位+昼 単位		単位	
<b>標準修得単位</b> ※自由科目への振替は考慮しない場合									
教養教育科目		18単位+昼		10単位		4～8単位		2～4単位	
(うち外国語科目)		(2単位)		(2単位)		(2単位)			
専門教育科目		0単位+昼		8単位+昼		8～12単位+昼		16～18単位+昼	
<b>履修上の注意</b> ※詳細は学生便覧「履修体系」の説明や学部規程参照									
*1 科目名に☆の付いた科目や集中講義(臨時開設科目に限る)は履修登録上限単位数に算入しない 一定の条件(1年間に40単位以上修得し、GPAが2.8以上)を満たせば、翌年度に上限を超えて登録できる									
*2 「自由科目(教養・専門)」とは、教養教育科目・専門教育科目に関わらず自由に選択して履修する科目 「最低修得単位数(卒業要件)」や「自由科目(教養・専門)」については、別資料参照									
*3 昼間コースに開設されている授業科目を30単位を限度として最低修得単位数に含めることができる(別資料参照)									
								<b>演習 I (必修)・演習 II (選択)の履修</b>	
								・演習 I の履修要件: 教養教育科目の修得単位数が26単位以上(外国語科目4単位以上を含む) 専門教育科目の修得単位数が14単位以上	
								・演習 II の履修要件: 演習 II を履修するためには演習 I の単位を修得していなければならない ・演習 I と演習 II は、原則として同一の指導教員の下に履修する ・演習 II の単位認定は指定期間内に提出した卒業論文によって行われる	